

出羽商工会景況調査報告

[調査要領]

- 調査対象 : 出羽商工会地域の企業 100 社 (製造業 24、建設業 24、小売業 25、サービス業 27)
 調査時点 : 令和元年 12 月、令和 2 年 3 月
 調査方法 : 企業へ調査表記入依頼及びヒアリング

※D. I とは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、以下により算出している
 D. I. = 【各項目の増加 (上昇・好転) 企業割合 (%)】 - 【各項目の減少 (低下・悪化) 企業割合 (%)】

【全体】

- 全体の 10-3 月について、DI は悪化しておりすべての業種で日本海山形県沖地震、新型コロナウイルスの影響がみられる。

【製造業】

- 10 月から大きく DI が悪化している。新型コロナウイルスの影響により、一部の業種で海外での生産縮小や仕入減少による影響がみられる。

【建設業】

- 全業種の中で DI 下落幅が最も緩やかに推移している。地震による影響で修理などの依頼増加、消費税前の駆け込み需要によるところが大きい。
- 新型コロナウイルスの影響により、中国産建材の仕入が困難となっている影響から工期延長などの問題が発生している。

【サービス業】

- コロナウイルスの影響から 1-3 月にかけて大幅に DI が悪化している。
- 復興支援を要因とした売上が増加も一部みられたが、新型コロナウイルスを原因とした卒業式の謝恩会や送別会が自粛されたことによる影響が大きい。

【小売業】

- 1-3 月にかけて大幅に DI が悪化している。新型コロナウイルスの影響により、飲食店への BtoB 販売や年度末需要などが減少し厳しい状況にある。

| 12 月調査 前期 (7 月 - 9 月) と比べて今期 (11 月 - 12 月) の業況は | | | | | | 3 月調査 前期 (10 月 - 12 月) と比べて今期 (1 月 - 3 月) の業況は | | | | | |
|--|-------|------|-------|-------|-------|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 区分 | 製造業 | 建設業 | 小売業 | サービス | 全体 | 区分 | 製造業 | 建設業 | 小売業 | サービス | 全体 |
| 好転 A | 12.5 | 14.3 | 9.5 | 3.8 | 8.7 | 好転 A | 4.5 | 4.8 | 0 | 0 | 1.1 |
| 不変 B | 37.5 | 61.9 | 42.9 | 76.9 | 53.3 | 不変 B | 54.5 | 61.9 | 30.0 | 62.5 | 52.8 |
| 悪化 C | 50.0 | 23.8 | 47.6 | 19.2 | 38.0 | 悪化 C | 40.9 | 33.3 | 70.0 | 37.5 | 46.1 |
| DI (A-C) | -37.5 | -9.5 | -38.1 | -15.4 | -29.3 | DI (A-C) | -36.4 | -28.5 | -70.0 | -37.5 | -45.0 |

景況判断「D I」全業種及び業種ごとの推移

前期と比較した今期の業況

